



“ 聴くことのできる人を育てる ”

P.L.A ニュース 第59号

NPO 法人パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション

2021年 10月 15日発行

発行者 P.L.A 事務所 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目7番3号 三好ビル 801号室 (月水金 11:00~16:00)

TEL&Fax 03-3255-2882 E-mail : info@pla-keicho.org ホームページ:http://pla-keicho.org/

長く続いた非常事態宣言がようやく解除されましたが、専門家からは、寒さに向けて第6波の到来が警告され、元の生活に戻るにはまだ2,3年はかかるだろうとのこと。

そんななか、高齢者の孤立化はますます進み、老化に伴う心身の衰えを改善することは、かなり難しい状況となっています。対面のボランティア活動が制限されている今、当 P.L.A として、なんとか高齢の方々との関りがもてるように、電話やオンラインによる訪問をお勧めしてきました。また P.L.A としても、ZOOM を利用したオンライン研修に取り組み始めました。内部で何度か試行を繰り返し、通信環境を整え、自治体や団体からの依頼に応えることもできました。「傾聴」を求める方々がいる限り、P.L.A では、可能な方法を模索し、お届けしたいと思っています。



“電話でつながろう人與人”

～みたかボランティアセンターの取り組み～



1980(昭和55)年から、日中一人で過ごされている、原則65歳以上の方を対象に、お電話でお話をする「電話訪問」が始まりました。当時はまだ介護保険制度もなく、毎週1回、決めた曜日に電話での会話で孤独感の解消を図ることと、無事でお過ごしなのかを確かめることを目的とした活動でした。

訪問員が曜日と時間別に5つの班に分かれ、交代しながらそれぞれ決まった方に電話をかけています。よく勘違いされたりすることもあります。私たちは「電話訪問員」であり、「電話相談」ではありません。相談は解決することを目的としていますが、私たちは相手の方の「お電話の相手」となり、お話を傾聴して、お気持ちに寄り添うことを目的としています。

長く電話訪問を続けていると、利用者さんから、辛いことや痛くてどうにもならないというような思いを聞くことがあります。そんな時でも、私たちはただ寄り添ってお気持ちをお聴きするのみで、それ以上の力にはなれず、電話訪問の難しさを痛感します。訪問員のこころの負担が重いお話を聴いたときは、他の訪問員と話しを共有し、話し合うことで、ひとりで抱え込まないようにしています。

私たちは訪問時に『電話訪問員です』と名乗り、個人名は伝えませんが、利用者さんの中には、私たちのことを、親しみを込めてタチアオイ、カーネーション、バラというように名付けて呼んでくださる方もいらっしゃいます。また、訪問時に『一日中誰とも話さなかったので、電話が来るのが楽しみだったのです』と仰ってくださる方もいらっしゃいます。そういった利用者さんとの心の触れ合いがやりがいとなり、今日まで電話訪問を続けています。

普段は顔の見えない会話を続けていますが、これまでは年に1回、「交歓会」というイベントで電話訪問を利用されている方と訪問員が一堂に会し、お食事や歓談を楽しんできました。コロナ禍の今、その会が出来ず、早く再開したいとみんな待ち望んでいるところです。

(三鷹市みたかボランティアセンター)

<ZOOMによるオンライン講座を实践して> P.L.Aからの報告

オンライン講座について、いろいろなことが分ってきました。

【メリット】としては

- ・ 講義だけであれば充分開催可能
- ・ コロナ等の感染症が拡大している際でも研修等の開催ができる
- ・ 遠隔地からの参加もできる
- ・ 参加者が移動時間を省略できる
- ・ 自宅からの参加であれば、大部分がマスク無しでも参加可能だ
- ・ 会場確保の必要が無く、主催者にとっては経費を省ける
- ・ 感染リスクの心配がないために、募集人数を定員の半分にしないで済む



【デメリット】としては

- ・ ワーク等の実習は、ブレイクアウトルームで何とか出来るものと難しいものがある
- ・ 講師が見られる画面がPCだけだと小さくて、参加者の表情等を読み取りにくい（その場合、大型モニターがあるとよいだろう）
- ・ 対面の講座と比べると、全体の雰囲気やリアル感では劣るようだ
- ・ 参加者が、パワーポイントを見ながら受講する場合は、画面の共有を行ったりしながら進める必要があるが、その場合講師が話している際の受講者の表情を読み取ることが、かなり困難となるようだ

【留意点】としては

- ・ 主催者側が機器の操作（特にブレイクアウトルームも伴う場合）に慣れること
- ・ 参加者がZOOMに慣れていないと、最初にうまく接続できない場合があり、タイムロスが生じやすいので、丁寧なリハーサルが必要

※そのほか、いわゆる「ハイブリッド型」と呼ばれる対面とZOOMを同時に行うやり方は講師の手間が増えるし、タイムラグが生じるので、あまり望ましくない

<お知らせ！ 第12回傾聴ボランティア交流会 10/22（金）は、中止とさせていただきます！>

この度は申し込み者が少なく交流会は開催できませんでしたが、P.L.Aはフォローアップ研修を開催して、グループやボランティアの皆さまを支援いたします。 ※同封の案内をご覧ください。

♥ P.L.A今年度開催予定の研修（2021年10月～12月） 順不同 10/15現在 ♥

- * **連続講座**：東大和市社会福祉協議会（以下社協）、あきる野市社協・福生市社協・日の出町社協共同開催、船橋市福祉サービス公社、渋谷区社協、江東区ボランティアセンター、練馬区傾聴ボランティア・こだまの会、豊島区社会福祉事業団、三鷹市、厚木市社協
- * **その他の講座**：坂戸オレンジカフェ、神奈川生活クラブ生協、NPO 法人病児保育を考える会 坂戸友の会
- * **フォローアップ研修**：豊島区社会福祉事業団、昭島市傾聴グループ「さざなみ」、あきる野市社協・日の出町社協・福生市社協共同開催、船橋市福祉サービス公社

♥ 第32回P.L.A公開講座：傾聴講座（2022年春）開催予定 ♥

- * **日時**：2022年2/12、2/19、2/26、3/5、3/12 * 全5回毎回土曜日 13:30～16:00 * 定員：12名
- * **会場**：国立オリンピック記念青少年総合センター会議室 * 参加費：全5回分12,000円